



雑巾を送り続けて10年

子どもたちの豊かな心作りの一助として

鹿児島県法人会連合会女性部会連絡協議会 県内11の法人会女性部会

平成16年から始まった県法人会連合会女性部会連絡協議会（林美智子会長）による、県下の小・中学校・養護学校に、県内会員が作った約4500枚の雑巾を贈呈する事業が、昨年平成25年で10年の節目を迎えました。

昨年は11月14日に、鹿児島県庁にて贈呈式が行われ、六反省一教育長から「心のこもった雑巾は、子どもたちの心を正しい方向に導く役目をしてくれます」とお礼の言葉もいただき、県内の小学校35校、中学校21校、養護学校5校の計61校へ贈呈されました。

贈られた雑巾の作り方はまちまちで、部会員各自が作ったものを持ち寄ったり、また女性部会員が一同に集まりミシンを使って縫い上げている単位会もあります。

そんな心のこもった雑巾を毎年4500枚も集め、毎年の贈呈先の学校選定では、教育委員会が県内全ての学校を公平に振り分け、県内の学校へ贈り続けています。

県内11の法人会女性部会では県教委への贈呈式を経て、選定された各地の

学校へ毎年贈呈に訪れていますが、西之表市の伊関小学校（上園拓郎校長・児童数12人）へも11月25日、種子屋久法人会の船川恵利子女性部会長から雑巾20枚が児童代表へ手渡されました（写真上）。

女性部会の皆さんの運動のきっかけは「子どもたちが雑巾を絞り、掃除して学校をきれいにすることで、勉強の場所、友達と切磋琢磨しながら仲良く過ごす場所である学校を大切にしようという心が育って欲しい。次世代を担う子供たちに、心の広い立派な社会人になってもらいたい。」という思いです。

昨年で10年の節目を迎え今年11年となる事業ですが、そのような思いも伝わり、現在では鹿児島県が取り組む教育活動の一環として組み込まれています。

鹿児島県法人会連合会女性部会、県内11の法人会女性部会の皆さんの、今年以降の益々の支援活動が期待されます。

ありがとうございました
 公益社団法人鹿児島県法人会連合会
 女性部会連絡協議会のみなさんへ
 毎年、私達の学校にきれいな雑巾を贈ってください
 ありがとうございます
 私達は、学校をきれいにするためにみなさんが作って
 くださった雑巾を使い、これからもそうじをがんば
 りたいです。
 今年もたくさん雑巾をください本当にありがとうございます。



女性部会員が集まり、ミシンで雑巾を作成



三島村立大里小・中学校の生徒さんから
お礼の手紙をいただきました

